

20
第3回県議会定例会が
伊藤祐一郎知事が「今後
の厳しい削減や歳入確保
努力を行い、一層の財源
不足額の圧縮を図り、財
政改革をさらに前進させ
たい」と意気込みを述べ
た。

20日、開会した。冒頭、
(2面に関連記事を掲載)
施策別に提案理由説明
要旨を見ると、「道路特
定財源」は、国において
道路整備の姿を示した中
期的な計画」の骨子案を
公表し10月に素案が示さ
れることになり、3カ年の
全体計画を作成。今後の
決定を行った。

「林業の振興」が19年
度から幹線道路沿線等の
荒廃竹林の整備に取り組
むことになり、3カ年の
財政改革さらに前進

第3回県議会定例会

道路財源確保を強く要望

財政改革さらに前進

鹿児島市議会個人質疑

鹿駅周辺総合整備

ガイドライン策定プロポ

19年度第3回鹿児島市議会定例会の個人質疑が20日開かれた。その中で当局は、まちづくりガイドラインの策定を取り組む考えが示された「鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業」で、ガイドライン策定に係るプロポーザルは、10月初旬に業者が決定することが明らかになった。

鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業について、土地区画整理事業と連続立体交差事業など、総合的なまちづくりが検討されている。同事業は19年度、まちづくりガイドラインの策定に取り組むことを示したが、「まちづくりガイドライン作成にあつては、19年度

はワークショップにより、ガイドラインの基本構成の検討を行う。委託業者には、ワークショップの運営、ガイドライン作成に当たる専門的知識と総合的な企画力や創造力、街づくりに対する熱意などが関連するから、業者選定にプロポーザルを採用したい」と回答。プロポーザルの応募などの状況については、「プロポーザルには6社の参加表明があり、10月初旬には委託業者を決定したい」と述べた。

また、16年に取得した鹿児島市土地開発公社が所の活用策について、「鹿児島市土地開発公社本部用地のところは、暫定活用のため、鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業を実施す

用ふれ地概算で二十数億円

県警跡地は十数億円

19日の鹿児島市議会定例会個人質疑で、

来月初旬に業者決定



株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 向江泰徳
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099-227-5100番
FAX 099-225-1919番
振替口座 02020-5-2558

http://www.kc-news.co.jp

primaXcell
(有)有元木材化工
ログハウスの御用命は
県知事許可(般)第8-129号
遊具・公園施設等の企画設計施工
円柱材(バーマエクセル)加工・販売

内閣府の地域再生計画

垂水市と和泊町を認定

内閣府は20日、地域再生計画(第7回後半分)の認定を発表した。それによると、全体で32件、本県関係は、「地域雇用創造推進事業」(新パッケージ事業)を活用し垂水市を図る。

和泊町では、「活力と潤いと魅力あふれる花の町づくり」で花き類の品種改良等に関する研修会や、タラソテラピー(海洋療法)インストラクタ育成の講習会を行い、産業の振興や雇用の創出

地域密着型福祉サービスの育成等を促進し、「多業種・小規模」の地域密着型産業を育成する。

和泊町では、「活力と潤いと魅力あふれる花の町づくり」で花き類の品種改良等に関する研修会や、タラソテラピー(海

洋療法)インストラクタ

育成の講習会を行い、

産業の振興や雇用の創出

の問題ではない。

飲むな。自分一人だけ

れてはいけない。飲ん

だら乗るな、乗るなら

飲むな。自分一人だけ

た事故から1年。この

事件をきっかけに「飲

酒運転撲滅運動」が全

5人が乗ったRV車が

飲酒運転の車に追突さ

れた揚げ句、海中に転

落し幼児3人が死亡し

た事件をきっかけに「飲

酒運転撲滅運動」が全